

小情報共有

非管理メモ

3枚

新規テキストドキュメント.txt

東京電力株式会社

各位

福島の本日(5/30)のマスコミ対応について情報共有いたします。
(9時~、12時~)
以下、転送。

=====

5/30(月)9時定例レク概要

<説明内容>

- ①Jヴィレッジでのけが人(協力企業作業員)の発生について【口頭説明】
- ②プラント関連パラメータの状況報告(5月30日 6:00現在)【口頭説明】
- ③プラント状況、本日の作業予定について【口頭説明】

【1号機】

- 給水系ラインからの淡水注入について
- 使用済燃料プールへの注水について(昨日約168トン)
- T/B地下階、トレンチたまり水の水位について
- 原子炉格納容器への窒素封入について
- 原子炉代替冷却設備設置工事について
- 原子炉建屋地下階水位測定について(水位計取付)
- 建屋カバー設置工事について

【2号機】

- 給水系ライン、消火系ラインからの淡水注入について
- 使用済燃料プール代替冷却浄化系の設置作業について
- トレンチ立坑、T/B地下階の水位について
- トレンチ立坑の閉塞作業について

【3号機】

- 給水系ラインからの淡水の注入について
- トレンチ立坑、T/B地下階の水位について
- 代替冷却設備設置のためのガレキ撤去作業について
- トレンチ立坑の閉塞について(5/28終了)

【4号機】

- T/B地下階の水位について
- 使用済燃料プール底部支持構造物設置工事について

【6号機】

- T/B地下階のたまり水の水位について

【集中廃棄物処理施設】

- プロセス主建屋の水位について
- 雑固体廃棄物減容処理建屋の水位について
- 高レベル廃液処理設備設置工事について
- 循環型海水浄化装置設置工事について

【その他】

- 飛散防止剤の樹脂散布について(本日有人による散布のみ)
- コンクリートポンプ車、屈折放水塔車による飛散防止剤散布について(気象状況により中止あり)
- リモートコントロール重機によるガレキ撤去について
- スクリーンピット部からの漏えい対策について(閉塞作業を実施中)

<主な質疑>

Q. たまり水の水位上昇は雨の影響なのか。昨晚からの雨風の影響は。対策を改めて

新規テキストドキュメント.txt

教えてほしい。

- A. 建屋大物搬入口の閉止、水の流入の可能性のある所への土嚢の設置等を実施して

いる。たまり水の水位は今まで以上に上昇しており、雨の影響もあると考えている。たまり水の水位については、集中廃棄物処理施設への移送を含めしっかり監視していく。

Q. 暴風、高潮への対策は。

- A. 固縛やブルーシートによる飛散防止、養生、水の流入防止のための土嚢の設置等

実施している。コンクリートポンプ車の高台への移動、原子炉への注水ポンプの監視カメラの養生等を実施している。屋外作業は天気の状況を見つつ判断する。

Q. コンクリートポンプ車の放水の停止による影響は。

- A. 特にないと考えている。4号機のSFPについては、今までの水位監視状況から判断して1週間放水を停止しても問題ないと考えている。

Q. 高潮の対策は。

- A. 先ほど説明した対策を踏まえ、たまり水の水位等を見ながら状況を判断する。

Q. 1号機立坑の水位の上昇原因は。

- A. 雨の影響と思われる。

Q. 今朝の新聞記事にあった、復旧作業が工程通り進まないとの報道についてどうか。

- A. 現時点では、公表した工程表に従い、現場、本店と連携をしながら工事を進めて

いる。作業がどれ位遅れているのかということはお示しできる状況にない。

以上

=====

5/30(月)12時臨時レク概要

<説明内容>

- ①福島第一原子力発電所における当社社員の被ばく線量の確定作業状況について【資料配付】

<主な質疑>

Q. 当該2名の被ばく線量は、どの程度になると考えているのか？

- A. ヒアリング等で、体内に摂取した時期を調査・特定により、線量が大きく左右される。現在、内部被ばく線量を求めるための実態調査を実施しているところ。

Q. 250mSvを超えると、何か(罰則など)問題があるのか？

- A. 経産省および厚労省の法令等に抵触する。

Q. 2名の健康状態は？

- A. 現時点で、健康状態に特段の以上はないと聞いている。

Q. 2名のヨウ素の放射エネルギーは？

- A. 9,760ベクレル、7,690ベクレル。
なお、外部被ばくは、73.71mSv、88.7mSv。

Q. 当該2名だけが、高い要因にころあたりは？

この2名はどのような作業をしていたのか？

- A. 内部被ばくした原因については、調査中。
中操での作業や屋外パトロール、免震棟での業務、中操でのデータ採取などに従事していた。

新規テキストドキュメント.txt

- Q. 当該2名は、ヨウ素剤を飲んでいただけですか？
- A. 飲んでいただけか否か、飲んでいただけであれば、いつ飲んだのか、確認したい。
- Q. 震災直後からサイトにいる(サイトのことをよく知るベテラン)社員たちが、今後250mSv超えなどで、現場作業に従事できなくなるのではないか？それに対する方策は？
- A. 本店などにいる社員の応援・ローテーションにより、全社大で対応していく。道筋に向けた作業進捗に影響がないようにしたい。

以上

情報共有

非管理メモ

1枚

新規テキストドキュメント.txt

東京電力株式会社

各位

福島の本日(5/30)のマスコミ対応について情報共有いたします。

以下、転送。

=====

5/30(月)15時定例レク概要

<説明内容>

①福島第一原子力発電所プラント状況等のお知らせ(5月30日 10:00現在)

【資料配付】

②プラント状況、本日の作業状況について【口頭説明】

【1号機】

- 原子炉代替冷却設備設置工事(中止)について
- 建屋カバー設置工事について

【2号機】

- 給水系ライン、消火系ラインからの淡水注入について
- 使用済燃料プール代替冷却浄化系の設置作業、注水について

【3号機】

- 予定通り実施

【4号機】

- 使用済燃料プール底部支持構造物設置工事(中止)について

【集中廃棄物処理施設】

- 雑固体廃棄物減溶処理建屋の水位について
- 循環型海水浄化装置設置工事について

【その他】

- その他作業は予定通り実施

<主な質疑>

Q. 雑固体廃棄物減溶処理建屋の許容水位はどれくらいか。

A. 通路側は天井までOPで2700。建屋の水位はOP2100
～2200程度のため、水が通路へ出ても溢れ出ることはない。

Q. 雨の影響で中止の作業が出てきているが、復旧作業への影響は。

A. 梅雨対策にテント設置等をして作業支障がないようにするなど、
工程期限を厳守するよう努力していく。

Q. 確認だが、各プラントへの風雨による影響などは出ていないか。

A. 特に出ていない。

以上

情報共有 非管理Xモ (2枚) 5/30 22:26' FTX

5月30日(月) 福島地域支援室における20時レク概要をお知らせします。

5/30(月) 20時定例レク概要

<説明内容>

- ①福島第一原子力発電所プラント状況等のお知らせ
(5月30日 午後3時現在) 【資料配付】
- ②「ふくいちライブカメラ」(24時間動画)の配信について【資料配付】
- ③溜まり水マップ【資料配付】
- ④トレンチ立坑レベル、T/B排水管理(タービン建屋水位)【資料配付】
- ⑤「福島第一原子力発電所敷地内における空気中の放射性物質の各種分析の結果について(第六十六報)」
「福島第一原子力発電所付近の海水からの放射性物質の検出について(第六十八報)」
「福島第一原子力発電所取水口付近で採取した海水中に含まれる放射性物質の各種分析の結果について(5月29日採取分)」
「集中廃棄物処理施設周辺 サブドレン水核種分析結果」
【全て資料配付】
- ⑥プラント関連パラメータの状況報告
(5月30日 13:00現在) 【口頭説明】
- ⑦プラント状況、本日の作業予定について【口頭説明】
 - 【T/B地下階たまり水の水位】
 - ・1u op4, 920mm ・2u op3, 524mm ・3u op3, 672mm ・4u op3, 644mm
 - 【トレンチ立坑の水位 (op4, 000mmから)】
 - ・1u D/S ・2u -435mm ・3u -316mm
 - 【プラント毎】
 - <1u>
 - N2射入について
 - ・17:00現在 35,100m3、0.1269MPaabs。
 - <2u>
 - 原子炉への注水について
 - ・10:38消化系2m3→1m3へ。
 - ・18:05消化系1m3→0m3へ。
 - SFPへの注水について
 - ・12:06~13:52 約53トン。
 - SFP代替冷却装置設置作業について
 - <4u>
 - SFP底部支持構造物設置工事について
 - ・本日作業なし。明日は、実施予定。
 - <6u>
 - T/Bから仮設タンクへの移送について
 - ・10:00~17:30。
 - <集中RW>
 - プロセス主建屋の水位について
 - ・op2, 130mm。
 - 雑固体容廃棄物減容処理建屋の水位について
 - ・op2, 130mm。連絡通路側は、op1, 930mm。
 - 【その他】
 - 循環型海水浄化装置設置作業について
 - 飛散防止剤の散布について
 - ・本日は、中止。
 - リモートコントロール重機によるガレキ撤去について

<主な質疑>

- Q. 溜まり水マップは、水色部分は確認箇所、色の付いていない部分は、「溜まり水があるかないか、わからない」ということか?
- A. そのとおり。色のない部分は、溜まり水がないと確認した場所ではなく、「未確認」の場所を指す。
- Q. 電源設備は水没してしまっている、ということでよいか?
- A. 1u~4uについては、その理解でよい。5u・6uについては、T/Bに電源設備がないため、復旧作業をしているところ。
- Q. 5u・6uは廃炉としていないが、これだけ海水がある状態から、将来、また使用できるようになるのか?
- A. 今後、どのように処理、修理していくかによる。検討していく。

- Q. 3uのRPVまわり温度が上昇しているのは、どう考えているか？
A. 給水ノズル温度では、0.4℃上昇の程度であり、現時点で大きな問題とは考えていないが、しっかり監視していかなければならない。
- Q. 2uの原子炉注水量は、消火系7m3のみから、給水系5m3に減少している理由は？
A. より少ない水で効率的に冷却するため、徐々に減少しているところ。減少させた状態で、様子を見ている。
- Q. レクで公表しているT/B地下階水位は、このマップ（の水色部分）と同じことか？
A. 公表している値は、マップに示している水位測定箇所の値である。
- Q. 雨水による溜まり水増加の懸念がある、この状況をどう考えるか？
A. 対策を（さらに）鋭意検討しているところ。op4, 000mmに近づいているので、（たとえば）2u3uについては復水器へ移送など考えていく必要がある。
- Q. 雨水によって、溜まり水が溢れてしまわないのか？
A. すぐに、そのような状況は考えにくいものの、シビアに考え、受け止めている。
- Q. 海水への汚染水の放出は、効果があったのか？
A. （効果云々というより）当初は、汚染水を移送、貯蔵するものがなかったため、放出せざるを得なかった。現状は、仮説タンクやメガフロート等に溜め置くことができる。

以上